

# 市政を

まちづくり条例は大規模開発を規制し、市民の権利を明確に



日本共産党昭島市議員 佐藤 文子

**質問** 市政運営において、市民との対話は欠かせない。意見交換の場を設定し、市民の力を生かす取り組みの強化を求める。見解は。

**市長** 引き続き飛耳長目をモットーに、市民の期待と信頼に応えるべく市政を進めていく。

**質問** 消費税の減税は物価高対策や中小企業支援として最も効果的と考える。国に強く求めるべき。

**市長** 家計への負担軽減となる一方、地方の減収分への補填を伴うべきと考えており、国の動向を注視していく。

**質問** 熱中症対策として、高齢者や障害者への支援が必要と考える。見解は。

**市長** 積極的な注意喚起に努め、低所得世帯へのエアコン設置緊急支援事業を実施する。

**質問** こども計画の策定に

当たり、子どもの貧困に特化した実態把握等を行うべき。具体的な取り組みは。

**市長** 基本計画としてこども計画を策定し、市民意識調査と同様の手法での実態把握等を検討している。

**質問** 教育について、①学校給食無償化を継続するための財源確保は、②制服や教材費等の隠れ教育費について、保護者負担軽減のための新たな取り組みは。

**教育長** ①小学校は国及び都、中学校は都の補助事業等を活用していく。②学校給食費無償化の継続に加え、移動教室への費用補助など、様々な支援策を講じていく。

**質問** 令和8年度から実施される国保税の引き上げは、加入者にとって大変重い負担と考える。見解は。

**市長** 子ども・子育て支援金への対応や保険料率の都

内統一化を見据え、熟慮を重ね、苦渋の選択をした。

**質問** 市民の移動権を保障するため、地域公共交通計画の策定に踏み出すべき。

**市長** 持続可能な公共交通の実現に必要と認識しており、今後、交通事業者等と連携して検討していく。

**質問** 教育について、①学校給食無償化を継続するための財源確保は、②制服や教材費等の隠れ教育費について、保護者負担軽減のための新たな取り組みは。

**教育長** ①小学校は国及び都、中学校は都の補助事業等を活用していく。②学校給食費無償化の継続に加え、移動教室への費用補助など、様々な支援策を講じていく。

**質問** 令和8年度から実施される国保税の引き上げは、加入者にとって大変重い負担と考える。見解は。

**市長** 子ども・子育て支援金への対応や保険料率の都

国の暫定目標値を下回っており、今後も適切に対応していく。

**質問** イーストテラス・サブスリーについて、障害者等から合理的配慮の欠如が指摘されている。施設改善の可能性について、考えは。

**市長** 利用者の目線に立ち、可能な範囲で改善を図っており、施設整備が困難な場合には管理や運営方法により対応している。

**質問** まちづくり条例の制定について、①行政刑罰を含めた費用となっている。不登校児童・生徒に対し、タブレット端末のカメラを通して授業の配信を行っているが、画質を向上させて自宅での学習環境を整える考えは。

**答弁** タブレット端末の入れ替えを行い、8年度より本格的に運用する中で、できる対応に努めていく。

**質問** 国民健康保険の子どもの均等割軽減について、国に先立って未成年者の5割軽減を行うことに感謝する。更なる子育て世帯の負担軽減に向けて、市独自の取り組みを行う考えは。

**答弁** 今後については、国の動向をしっかりと確認し、研究をしていきたい。

## 令和8年度施政方針、教育施策推進の基本的考え方について



昭島市議会議員 佐藤 文子

**質問** 転入超過が続いている中、子どもや高齢者、障害者を含め、誰も取り残さないまちづくりの将来像をどのように描いているのか。

**市長** 人口増加傾向を市の発展につなげていく視点が肝要である。全ての市民が大好きと言える「ふるさと

昭島」の実現へ向け、まい進していく。

**質問** 物流施設等の大規模開発に対し、環境基準等の制度上の課題をどのように国へ要望しているのか。

**市長** 全国市長会で物流センターの法整備に関する提言について採択されたこと

も踏まえ、対応していく。

**質問** 深層地下水は生活基盤と同時に、市民の誇りでもある。保全のためのモニタリング調査の対応は。

**市長** 毎年度、湧水量等を調査している。定期的なモニタリングに努めていく。

**質問** 平和事業は、自分事として継承される仕組みが重要と考える。次世代へどのように継承していくのか。

**市長** 核と平和を考える市民のつどいの充実を図るとともに、関係機関等と連携を深める中、市民とともに平和への歩みを進めていく。

**質問** イーストテラス・サブスリーを、防災拠点としてどのように活用するのか。

**市長** 市役所本庁舎が被災

した際の災害対策本部の代替施設となるほか、一般避難所としても活用していく。

**質問** 障害者雇用・就労支援について、定着支援や職域拡大への取り組みは。

**市長** 就労支援機関に各種コーディネーターを配置し、支援の充実を努めていく。

**質問** 不登校支援に関して、ICT等の活用を含めた学びの保障について、考えは。

**教育長** 個々の状況を踏まえた多様な学びの場を確保し、誰もが安心して学べる環境の構築に努めている。

**質問** いじめ等の対策について、予防や早期対応の強化に向けた方針は。

**教育長** 関係機関や家庭、

### 2面下段より

額し対応していく。

**質問** 除草・草刈委託について、今後、夏季の実施回数を増やしていく考えは。

**答弁** 現在のところ回数を増やす考えはない。

**質問** 部活動地域連携・地域移行業務委託費を1千80万3千円計上しているが、内訳は。

**答弁** 委託業者のコーディネーター業務料や指導者への謝礼、救急ボックス等を含めた費用となっている。

**質問** 不登校児童・生徒に対し、タブレット端末のカメラを通して授業の配信を行っているが、画質を向上させて自宅での学習環境を整える考えは。

**答弁** タブレット端末の入れ替えを行い、8年度より本格的に運用する中で、できる対応に努めていく。

**質問** 国民健康保険の子どもの均等割軽減について、国に先立って未成年者の5割軽減を行うことに感謝する。更なる子育て世帯の負担軽減に向けて、市独自の取り組みを行う考えは。

**答弁** 今後については、国の動向をしっかりと確認し、研究をしていきたい。

### みらいネットワーク

**質問** メンタル疾患による職員の休職を少しでも減らすため、ワーク・ライフ・バランスの取り組みを徹底すべき。考えは。

**答弁** 年次有給休暇の平均取得日数は増加しており、引き続き各種休暇取得の推進に取り組んでいく。

無 会 派

**質問** 生活困窮者自立支援事業のうち、子どもの学習、生活支援事業委託について、①対象者は、②指導員の確保